

総務常任委員会 他都市行政調査 実施報告書

大阪府和泉市 10月26日(水)
地域公共交通について

1. 和泉市の概要

- ・ 総人口：183,958人
(令和4年9月末現在)
- ・ 世帯数：81,411世帯
(令和4年9月末現在)
- ・ 面積：84.98km²



2. 視察の目的

- 1 平成13年からコミュニティバスを運行している和泉市から「地域公共交通網形成計画」策定の経過、現状と課題等について調査する。
- 2 和泉市立総合医療センター等への通院利用について調査し当市の新病院へのバス路線検討の一助とする。

3. 調査項目

- 1 計画策定の経過
- 2 公共交通の現状・課題
- 3 地域交通網形成の計画概要
- 4 和泉市市立総合医療センター等への通院利用について

4. 今後の展開について

行政面積は当市の5分の1以下ではあるが北部、北西部においては住宅地や商工業地。中部地域は新住宅街や商工業地。山間部は農村集落や山林とコンパクトな中に当市と類似した都市形成となっている。JR線 北信太・信太山・和泉府中と3駅あり主要駅を拠点とした交通結末機能強化を目指している。路線バス、コミュニティバス、デマンド型乗合タクシーの導入を検討するなど、持続可能性を意識した中国の「地域公共交通確保維持改善事業」の支援を受けながら事業展開している。

和泉市立総合医療センターへのバス利用については通院患者の10%程度との事であった。車での来院患者向けには駐車台数344台を確保し入庫より6時間無料。お見舞い、一般の方は30分無料との事であった。

駐車場は満車になる事はないとの事であるが患者の送迎車で周辺道路の渋滞が見られるとの事であった。

当市の新病院建設にあたっては送迎バスの必要性はあると考えられるが送迎車の車寄せ、駐車場など一般外来受診者との導線分離など周辺の交通に配慮した計画が必要と考える。

総務常任委員会 他都市行政調査 実施報告書

奈良県橿原市 10月27日(木)
地域公共交通について



1. 橿原市の概要

- ・ 総人口：120,165人
(令和4年10月1日現在)
- ・ 世帯数：55,205世帯
(令和4年10月1日現在)
- ・ 面積：39.52km²

2. 視察の目的

- 1 地域公共交通の現状と課題について調査する
- 2 「公共交通計画」の見直しの経過について調査する

3. 調査項目

- 1 計画策定の経過
- 2 公共交通の現状・課題
- 3 奈良医大付属病院へのバス路線の現状と課題について

4. 今後の展開について

奈良県のほぼ中央に位置し、東西6.40km、南北7.75kmと当市の1/2程度の面積であり東は桜井市、西は大和高田市、南は明日香村、高取町、北は田原本町と接している。大阪市や京都市、奈良市などのベッドタウンとして人口の増加が続き総人口は12万人となっている。

市内には近鉄線が10駅、JR線が3駅あり市内全域を鉄道とバスが運行している。平成19年、橿原市コミュニティバスを運行開始。奈良交通に委託し公共交通機関空白地域の解消や藤原宮跡などの文化財の周遊、公共施設へのアクセス改善を図る目的で運行している。

公共交通不便地の移動手段の確保、高齢者を含めた交通弱者の移動手段の確保。バス運行に対する市の負担増が課題となっており平成19年のコミュニティバスを運行以来、平成26年、28年、30年、31年と積極的に見直しを行い利用者の利便性の向上と利用促進を図っており、当市のバス路線再編の参考にすべきと考えられる。

奈良医大付属病院については路線バスが大通りに停車する他、コミュニティバスが敷地内正面玄関前まで乗り入れており利用者に好評のようであった。

来院患者向けの駐車場が狭隘地の為、遠方含め点在しているとの事であり送迎車の乗り入れによる混雑が問題となっており当市の病院建設に大いに参考にすべきと考える。